

中国農家のメンタル・アカウンティングの存在と内部構成

—^{バリンユウチ}巴林右旗おける調査をもとにして—

王 秀紅*

山口大学 東アジア研究科

要旨：中国の1農村地域を対象に2つのアンケート調査を行い、農家におけるメンタル・アカウンティングの存在とその内部構成を検証した。検証結果によると、農家の家計行動において、メンタル・アカウンティングが存在しており、しかも、収入、支出、貯蓄それぞれにおいて、安定的な内部構成を持っていることが分かった。

キーワード：中国 メンタル・アカウンティング 農村 因子分析 クラスタ分析

1. はじめに

Thaler(1985)は人間が入手した方法によってお金に色をつけて、それぞれを特定な用い方に当てはめる傾向があるということから、メンタル・アカウンティングという概念を導入した。メンタル・アカウンティングは人間が非合理的であるという視点から、人の経済行動を研究している分野である。

メンタル・アカウンティングの応用研究は消費、投資、マーケティング、貯蓄などさまざまな分野で行われている¹。このような研究は近年中国でもなされている。例えば、李(2005)は中国の都市部における個人のメンタル・アカウンティングを詳細に研究し、都市住民のメンタル・アカウンティングの内部構成、分類根拠、特徴などを調査した。

本稿の目的は李(2005)の研究方法に基づき、巴林右旗²の農家を対象として、家計行動を調査し、中国農家の家計が都市住民と同様、メンタル・アカウンティングが存在し、かつ安定した内部構成を持っているかを検証することにある。

2. アンケート調査の内容と分析方法

調査は巴林右旗の26の村の523人に対して行った。有効アンケート数は468である。有効回収率は89.68%である。

調査1は、異なる3つの収入源で同じ金額の2,000元を獲得した場合、6つの配分方法のうち、どれに最も使いたいですかというものである。具体的な内容は次の通りである。

3つの収入源：①農産物の値上げにより獲得した2,000元の収入、②宝くじ当選により獲

* 〒166-0012 東京都杉並区和田 1-36-5 コーポアリエス 202 e-mail:wXH1223@hotmail.com

¹ 例として、以下の論文を参照されたし。Prelec and Loewenstein(1988), Kooreman(2000)など。

² 中国の内モンゴル自治区東部の地域である。

得した 2,000 元の収入、③出稼ぎで稼いだ 2,000 元の収入。

6つの配分方法：①預貯金をする、②交際費に用いる、③他人に貸出をする、④旅行あるいは贅沢品を買う、⑤家族の生活を改善する、⑥日常生活に使う。

調査1の分析では、最初に、3つの収入の配分選好が全体的に異なっているかどうかを検証するために、クロス表の検定を用いた。次に、3つの収入から2つずつ組み合わせて3つのグループを作り、それぞれのグループの配分選好の比率の差を検証した。

調査2は農家のメンタル・アカウンティングの内部構成を分析するために行った。表1は収入を18の項目、支出を20の項目、貯蓄を10の項目に分類したものである。アンケート回答者には、収入、支出、貯蓄の各項目が、他の項目と比べて、独立した項目と見なすことに同意できるかどうかについて「1.完全に同意できない、2.基本的に同意できない、3.あまり同意できない、4.ある程度同意する、5.基本的に同意する、6.完全に同意する」から、もっともふさわしい数字を選択してもらった。例えば、アンケート回答者は農産品の売上を他の17の項目と比べ、明らかに異なる特徴を持っていると思えば、独立している項目とみなし、6という数字を選択する。ほぼ類似した項目であると思うなら、1や2の数字を選択することになるだろう。調査2では因子分析、クラスター分析を用いた。

3. 調査1の分析結果

表2はアンケート集計結果である。3つの収入のそれぞれの選好順位は次の通りである。

- ① 農産品値上げ収入に対し、預貯金、日常生活、生活の改善、貸出、交際費、旅行・贅沢品の順位となっている。
- ② 宝くじ当選収入に対し、生活の改善、交際費、日常生活、貸出、預貯金、旅行・贅沢品の順位となっている。
- ③ 出稼ぎ収入に対し、日常生活、預貯金、貸出、生活の改善、交際費、旅行・贅沢品の順位となっている。

クロス表の検定を用い、農産品値上げ、宝くじ当選、出稼ぎという3つの収入のそれぞれの選好順位が統計水準で有意に異なっているとわかった。

さらに、3つの収入から2つずつ組み合わせて3つのグループを作り、比率の差の検定を用いて、それぞれのグループで配分方法毎に配分選好が異なっているかを検証した。結果は以下の通りである。

- ① 農産品値上げ収入と出稼ぎ収入の配分選好は、預貯金をする、他人に貸出、日常生活に用いるという3つの点において有意に異なった。
- ② 農産品値上げ収入と宝くじ当選収入の配分選好は、他人に貸出をするという配分方法を除き、すべて有意に異なった。
- ③ 出稼ぎ収入と宝くじ当選収入の配分選好は、②と同様の結果となった。

4. 調査2の分析結果

4.1 収入のメンタル・アカウンティングの構成

収入の18の項目に関して、因子分析では生産経営収入、臨時的な正規収入、偶発的な収入、他人からの援助、非正規的収入、借入れという6つのグループに分類できた³。生産経営収入は農産物と畜産物の売上を含んでいる。臨時的な正規収入は出稼ぎ収入、薬草の売上、短期アルバイトの収入を含んでおり、偶発的な収入は意外的な収入とギャンブルによる収入を含んでいる。他人からの援助は子供、親戚や友達などからの援助及び冠婚葬祭等の収入を含み、非正規収入は貸出、預貯金の利息、貸出元本の回収、遺産、中古品の売上によって構成されている。借入れには金融機関と親戚などからの借金が含まれている。

クラスター分析ではギャンブルによる収入と意外的な収入を個々の独立したグループに分類したが、他の5つのグループの構成は因子分析の結果とほぼ一致した。また、クラスター分析では、臨時的な正規収入が生産経営収入と結合し、他人からの援助は非正規収入と結合し、意外的な収入は借金から生じた収入と結合し、ギャンブルによる収入を含め、4つのグループになった。

4.2 支出のメンタル・アカウンティングの構成

支出の20の項目に関しては、因子分析で生活に必要な支出（生産経営支出、日常生活用品支出、衣類、子供の教育費用、親への仕送り）、二次的に必要な支出（医療費用、交通費用、通信費用、税金）、多額な支出（家を建てる費用、リフォームの支出、家庭耐久財の購入）、必要に応じて生じた支出（親族への経済援助、保険費用）及び生活向上するための支出（贅沢品の購入、利子支出、健康・美容費用、レクリエーションへの支出）という5つのグループに分類できた⁴。

クラスター分析では大きく4つのグループに分けられた。第1のグループは家を建てる費用、リフォームの支出、家庭用耐久財の購入、親族への経済援助、保険費用、交際費という5つの支出によって構成されている。第2のグループは生産経営支出、日常生活用品支出、衣類、子供の教育費用、親への仕送り、予想外の支出、医療費用、交通費用という8つの支出によって構成されている。第3のグループは贅沢品の購入、健康・美容費用、レクリエーションへの支出という3つの支出によって構成されている。第4のグループは税金と利子支出によって構成されている。クラスター分析の結果は因子分析と比較してみると、大きな違いはなかった。

³ その他の収入の因子負荷量は0.4より低く、統計的に有意でなく、因子分類に属することができなかった。

⁴ () に書かれた内容はそれぞれのグループに含まれている支出の内容である。また、因子分析では、交際費と予想外の支出の因子負荷量が0.4より低く、統計的に有意ではなく、この2つの項目はどの因子にも属していない。

4.3 貯蓄のメンタル・アカウンティングの内部構成

貯蓄の 10 の項目に対して、因子分析では貯蓄が伝統的な貯蓄、株式投資、生産の拡大、保険という 4 つのグループによって構成されていた⁵。定期預金、普通預金、と現金は伝統的な貯蓄に属しており、家畜を買うと生産のための不動産の投資は生産の拡大というグループに、子供のための保険と年金は保険というグループに分類されている。

クラスター分析では、農家が、現金、株式投資、不動産投資、貸出は独立したグループとして考えていることが分かった。巴林右旗という地域においては、株式投資と不動産投資という貯蓄方法を用いる農家はほとんどいない。そして、貸出ができる農家も裕福な農家だけに限定されている。以上のことから考えると、貯蓄に対してこのようなメンタル・アカウンティング構成が存在しているのは現状に相応しいと言えるだろう。また、定期預金と普通預金は同じグループに、子供のための保険と年金に加入するも同じグループに、家畜を買うと生産のための不動産の投資も同じグループに分類されている。貯蓄のメンタル・アカウンティング構成に関して、因子分析とクラスター分析は似た結果になった。

5. まとめ

期待効用理論を適用するなら、同じ金額の収入に対しては、配分選好の順位は同じはずである。調査 1 で設定した 3 つの同額の収入に対して、配分選好が異なっているとすれば、メンタル・アカウンティングが存在していることは証明できる。調査 1 の検証結果では、設定した 3 つの収入の配分選好が有意に異なった。また、3 つの収入から 2 つずつ組み合わせて 3 つのグループを作り、それぞれのグループの配分選好の差も有意であった。以上の結果はメンタル・アカウンティングの存在を示すものである。

調査 2 では、収入、支出、貯蓄それぞれの内部構成を因子分析とクラスター分析という異なる統計の分類手法を用いて検証した。収入、支出、貯蓄それぞれに対して、2 つの方法でほぼ一致した分類結果がすべてにみられたため、農家は、安定したメンタル・アカウンティングの内部構成を持っていることが明らかになった。

⁵ 貸出と不動産投資という 2 つの項目の因子負荷量が 0.4 より低く、統計的に有意ではなく、この 2 つの項目は因子分類の結果から外した。

表1： 内部構成に関する収入、支出及び貯蓄運用の内容

	収入	支出	貯蓄
1	農産品売上	生産経営支出	定期預金
2	畜産売上	日常生活用品	普通預金
3	出稼ぎ収入	衣類	現金
4	薬草売上	子供の教育費用	貸出
5	短期アルバイト収入	親への仕送り	株式投資
6	ギャンブルによる収入	家を建てる費用	家畜を買う
7	意外な収入 ⁶	リフォームの支出	生産のための不動産投資
8	子供からの仕送り	家庭耐久財の購入	不動産投資 ⁷
9	親戚・友達などからの経済援助	親族への経済援助	子供のために保険に加入
10	冠婚葬祭等収入	保険費用	年金に加入
11	貸出利息	交際費	
12	預貯金利息	意外な支出 ⁸	
13	遺産	医療費用	
14	貸出の回収	交通費用	
15	中古品売上	通信費用	
16	親戚などからの借入	贅沢品の購入	
17	金融機関からの借入	税金	
18	その他の収入	借入の利子払い	
19		健康・美容費用	
20		レクリエーション	

表2：3つの収入の配分方法の統計

収入源	預貯金	交際費	貸出	旅行・贅沢品	生活の改善	日常生活	合計
農産品	239	14	33	12	69	101	468
値上げ	51.07%	2.99%	7.05%	2.56%	14.74%	21.58%	100%
宝くじ当選	48	124	49	46	129	72	468
	10.26%	26.50%	10.47%	9.83%	27.56%	15.38%	100%
出稼ぎ収入	159	14	57	10	56	172	468
	33.97%	2.99%	12.18%	2.14%	11.97%	36.75%	100%

注：統計データの上の列の数字は選択した人数である。%で表示した数字は総人数の中に占める割合である。

⁶ 意外な収入は予期せず得た収入のことを指している。

⁷ ここであげられた不動産投資とは将来に売るために家を建てるということを指している。

⁸ 意外な支出は突発事件や突然の病気などから急に生じた支出のことを指している。

参考文献

Kooreman, P(2000) “The Labeling Effect of a Child Benefit System” *The American Economic Review* 90:571–583 .

Prelec, D. and G. Loewenstein (1988) “The Red and The Black: Mental Accounting of Saving and Debts ” *Marketing Science* 17:4–28

Thaler, R. (1985) “Mental Accounting and Consumer Choice” *Marketing Science* 4:199–214

李 愛梅 (2005) 「心理账户与非理性经济决策行为的实证研究」(メンタル・アカウントィングと非合理的經濟選択行動に関する研究) 暨南大学博士学位論文 2005年10月